

コカリナコンサート in 佐渡

世界農業遺産に指定された佐渡で今年もコカリナコンサートが開催されます。今年のコンサートは、地元の方達に、コカリナの合奏を聴いてほしい、そして、全国のコカリナ愛好者の方達に、佐渡の魅力を感じて欲しい、と企画されました。会場は、佐渡相川温泉で夕日に一番近い宿として有名な「ホテル吾妻」です。(岬の最突端にあります。)

海に沈む夕日をバックにコカリナを堪能してほしいと夕方開始の野外コンサートの予定です。そして、翌日は地元の方達の案内で佐渡の歴史・自然を満喫して頂く、オプションツアーを企画しています。

ご興味のある方は、黒坂音楽工房までご連絡下さい。後日、佐渡コンサート実行委員会から詳細なご連絡を差し上げます。

2011年
日時：9月11日(日) 夕方～ サークル発表&黒坂黒太郎コカリナコンサート
夜 佐渡のメンバーと共に交流会
9月12日(月) 佐渡の歴史と自然探訪のオプションツアー
場所：新潟県佐渡市 ホテル吾妻

東日本被災地支援コンサート つむぐ in 近江八幡

滋賀県でも、被災地支援コンサートが予定されています。こちらは、大正時代から地元根付き活動してきた近江兄弟社学園内のヴォーリズ平和礼拝堂にて開催されます。この礼拝堂は700名収容可能な、すばらしい礼拝堂です。出

演は黒坂黒太郎・矢口周美・福澤達郎、そしてびわこコカリナアンサンブル他です。びわこコカリナアンサンブルが奏でる「アヴェ・ヴェルム・コルプス」がどのように美しく響くのか、とても楽しみです。是非、足をお運びください。

日時：10月9日(日) 開演 14時
場所：滋賀県近江八幡市近江兄弟社学園内ヴォーリズ平和礼拝堂
お問い合わせ：戸高 (TEL: 077-563-0221)

支援コンサート経過報告

支援コンサートは既に全国各地17ヶ所で取り組まれ、多くの方から支援が寄せられています。コンサートに取り組んで頂いている人の中には、コカリナを聴いた事がないけれど「支援」になるなら、と取り組んで下さった方もいます。

7月9日の横浜みなとみらいホールで開催された東京コカリナアンサンブルの支援コンサートでは400人を越える人で会場は満席、「日本のうた」のしらべでは被災地への思いで、演奏者も客席も涙、涙、となりました。

会場出口に設置されたコカリナの形を模した募金箱へは、次々と人が押し寄せ「お札が入りにくい」と苦情(?)がでるほどでした。また、「お誘いいただいたけどどうしても都合がつかないから」と寄付金がメンバーのもとへ送られてきたとのこと。コカリナを通じて多くの方の支援の輪が広がっています。今までに寄せられた義援金は3,029,937となっています。

この義援金については、現地石巻、女川のプロジェクトメンバーと相談しながら有効に活用させていただきます。これからも皆さんの街で、全国の仲間との絆をつむいでいけたら良いと思います。

支援プロジェクト 山田みどり

編集後記

つむぐコンサートを始めて

東日本大震災支援コンサートのタイトルに「つむぐ」という題がついています。全国各地から被災した方々に応援の心を紡いで伝えていきたいという思いが込められています。

私はこの「つむぐ」コンサートを続けていく中で身近な人達、夫や、子ども達、友人達と一本一

本の糸を寄り合わせ、「つむぐ」楽しさと重要性を感じはじめました。

そして1日1日、1時間1時間、人生の糸を寄り合わせつむいでいく、楽しい事も苦しい事も不幸な出来事もそして病も、いつくしみながらつむいでいく事が出来たら色どり豊かな人生を作れる。そんな事を教えてくれる「つむぐ」コンサートです。(Y.K)

コカリナ通信 39

2011.7.25

発行 特定非営利活動法人 日本コカリナ協会
〒136-0072 東京都江東区大島5-34-17-2F
黒坂音楽工房内
TEL 03-5626-1574
FAX 03-5626-1568
日本コカリナ協会 ホームページアドレス
http://www.kocarina-k.or.jp

第15回 コカリナフェスティバル in 北志賀高原

元祖コカフェスも今年はいよいよ15回になります。記念すべきこのフェスティバルの開催日程が決定しました。毎年夏休みに行っているのですが、今年は混雑する夏休みをあえて外して、9月に開催する運びとなりました。まだまだ残暑が厳しいと予想される日常を離れ、高原のさわやかな風の中でコカリナを吹いてみませんか? 毎回好評の交流会や2日目のオプションも今年も健在です。

日時：9月3日(土)～4日(日)
場所：長野県北志賀高原 「ホテルタガワ」
9月3日 サークル発表
黒坂黒太郎コンサート
出演：黒坂黒太郎・矢口周美・福澤達郎
交流会
9月4日 「素晴らしい景色の中でコカリナを吹こう」をコンセプトに
いろいろなオプションが用意されています。
問い合わせ：第15回コカリナフェスティバル実行委員会事務局 山之内公民館
TEL: 0269-33-1120

黒坂黒太郎 コカリナコンサート in しずおか

ひさびさに静岡のクラシックホールにてコカリナコンサートが開催されます。このコンサートでは、静岡で活躍している「静岡コカリナ愛好会」メンバーを中心として、静岡県内のコカリナ講師などが合流し結成した「静岡コカリナアンサンブル」がコカリナの合奏を披露します。夏の疲れをコカリナの爽やかな音色で癒しに來られませんか。

日時：8月21日(日) 開演：13時30分
会場：しずぎんホール「ユーフォニア」
出演：黒坂黒太郎・矢口周美・福澤達郎・静岡コカリナアンサンブル

山武の森コカリナ祭り 開催延期のお知らせ。

毎年8月～9月に千葉県山武市で開催しておりました山武の森コカリナ祭りですが、今年は開催を延期することになりました。楽しみにして下さっていたコカリナ愛好者の皆様、申し訳ございません。次回開催が決まりましたら、またお知らせいたします。

私たちのやっていること…

上田市 岩田 悦子

カッコウの鳴き声が遠くまで響き渡り、かえるが大合唱をし、道端に1本ある桑の木の前には小学生が集まって、赤くなった桑の実を採っています。どこかで、蚕も桑の葉をまわっているのでしょうか。

「蚕都上田」と呼ばれたこの上田市は、かつて養蚕が盛んで、今でも“上田紬”は有名です。蚕は新鮮な桑の葉だけをもくもく食べ、脱皮を繰り返して、時期がくるとひと時も休まず繭を作り上げます。そこから生糸を紡ぎ、一本一本織り上げて紬ができます。もくもくとひたむきに、時間と多くの人の手をかけ、そして確かな本物の存在となる…今回の「つむぐコンサート」と共通することが多そうです。

長野県内では4月からコンサートが続いています。私は会場にお邪魔していますが、いつも感動をし、深く考える機会となり、その意義に確信がもてるようになりました。

私は「もち場を守る」という台詞が好きです。これは、レオ・レオ二作「スイミー」の絵本のなかの台詞です。海のどこかに暮らす小さな魚たちが、大きな魚に襲われます。さみしい体験してきたスイミーという一匹の魚が、「考えて、いろいろ考えて、うんと考えて」仲間たちに呼びかけます。「みんな一緒に泳ぐんだ。海で一番大きな魚のふりををして」と。小さな魚たちが大きな魚の隊形を作って泳ぐのは、とても難しいのですが、「みんな決して離れ離れにならないこと。みんな、もち場を守る。ほくがみんなの目になろう。」という呼びかけで、

大きな魚に立ち向かうというお話です。きつと尻尾の位置を守る仲間、ひれの位置を守る仲間、それぞれに難しかったでしょうが自分の持ち場を守り、みごと大きな魚を追い払います。

私たちのやっているコンサートは、準備する人、聴きに来てくださる人、中心にいて素晴らしい時間を繰り広げてくださる黒坂さん周美さん…それぞれの役割、それぞれの持ち場を守って初めて一つのコンサートが出来上がります。それが紡ぐということでもあるのではないのでしょうか。さらに、100回続くこのプロジェクトは「よし、目になろう」という導きを感じながら、その会場ごとに、100回のうちの1回の持ち場をしっかり守って、大きな隊列を崩さずに進んでいることを、感じています。そして、私たちのやっているこのプロジェクトは、社会の中にあっては小さな1匹のスイミーのような魚がもしないけれど、大きなものに立ち向かっているとき、持ち場を理解し任されている大切な一匹(存在)であるのだと思いました。

きれいな魚、泳ぎのうまい魚、強い魚、いろいろいても、スイミーたちのように仲間と知恵を出し合って、持ち場を守って進める魚たちはそうはいません。なんてすてきな魚たち…いえいえ私たちのなのでしょう。多くのコンサートに参加して、そう確信したときに、被災されたみなさんに対してずっと、自分のやれることしかできなくて申し訳ないという気持ちでいる私ですが、あらたに前に進めそうな想いが沸き上がってきました。

1/100のお手伝い

長野市 寺島 貞子

「これから黒坂黒太郎さん、矢口周美さんに依るコカリナと歌のチャリティコンサートを始めさせていただきます。こんなに多くのお客さまをお迎え出来まして大変うれしく思います。実はこの場をお借りして栄村の物産を販売出来たらと思って役場に問い合わせました。観光物産課の方がこの小屋の倒壊などひどくて売れるものはありません。お気持ち本当にありがとうございます…。」つい声を詰まらせてオープニングの言葉が出なくなりました。

「海原」から「チャルダッシュ」多分コカリナの生の音を聴くのは初めての人ばかりでしょうか、周美さんの甘い歌声とよくマッチしたコカリナの音色は人々を魅了し続けました。お二人のつむいで来られた絆の証でしょうね。

長野市内でもコンサートを、と関谷さんに言われましたが、あそこはいまいち、そっちはどうもね…。そんな場所探しの時、ふっと思いついたお寺さんが曹洞宗の天園院さんでした。昨年春、仏教婦人会の総会でオカリナを吹いて欲しいと頼まれ、三十分程仲間と演奏し大変喜ばれました。

五月十四日の午後と決めて、仏教婦人会の方三人でお願いにゆき、チャリティコンサートの主旨を充分お話をし、黒坂さんが上田出身である事等もつけ加えました。話を聞いて下さったのは50歳の素敵なお住職さんでした。大震災と栄村の地震に大変心を痛めておられました。「実は五月十四日は私の“しんざん式”が予定されて

講師のつぶやき

いた日なんです。でも大震災と栄村の地震が相次いだため延期をしたので本堂は空いておりますが幼稚園のホールではどうでしょう」と境内にある幼稚園に案内して下さいました。ステージのあるとっても素晴らしいホール、そして全てがゆったり広々しています。「ここで栄村の物産を売る事も出来ますよ」と一言。宗教に関係なく来られる場所を見せいただき、五月十四日のコンサート決定。翌日、関谷さんが仕事帰りの夜七時半「ちらし」「チケット」を会場である若草幼稚園迄雨の中運んでくれました。飯島明子さん・岡田マサコさんの二人の講師に協力を頼み、コンサートまで二週間足らずの駆け足の準備期間でした。考えるより先に行動する日々でした。お寺さん、仏教婦人会、そして二つの私の教室の皆さん、講師の方々ありがとうございます。100人の予想を遙かに超え200人上まわる方々にコンサートを楽しんでいただけました。

JA長野平の生徒さん「長野の空の下から応援しています」、小森の木音(カノン)の生徒さん「心から笑える日が来ますように」、皆さんの演奏曲「おぼろ月夜」「ピリブ」きれいでしたよ。ささやか乍ら1/100のお手伝いで幸せになれる人がいたらうれしいです。

黒坂先生、周美さん、お疲れ様でした。

後日若草保育園へ黒坂さんのブログをお持ちしました。いただいた会場費は義援金として送らせていただきました。とおっしゃってました。

雑感

静岡市 小杉 政実

コカリナの世界にどっぷり浸かって、コカリナ中心の生活を送っています。今やコカリナの音色が聞こえない日はありません。コカリナが体の一部となっています。体に優しく、精神にゆったり感を注入してくれるので心地いいです。

コカリナを良く聴いてみると当然のことながら人によって音色が違います。息の吸い方と送り方、息の量と出す方向それに支え等が人によって違うからです。また音程は意識的に音の高さに合わせて息を送らないとピッチを正しく取ることが難しいし、その感覚を理解するには言葉や理屈だけでなかなか会得出来ないといった難しい所でもあります。とにかく、音を出して聴き合い練習を重ねる事、もっと綺麗な音色にしたいという願いを持つことが一番大切だと思います。合奏する時は出来るだけ息を合わせ互いに気を配っていますがいつも悩みます。“音の艶”は吹き込んでいくうちにおのずと付いてくるものだと思うけれど、響きがあり透明感のある音を出したいと常々思っています。コカリナは、入り口は広いけれど勉強していく

うちに欲もでてくるためか、どんどん奥深くなくなっていくと感じます。納得するために追求するのでさらにのめり込んでしまいます。それだけ夢中にさせる魅力があるコカリナです。

先日、大学の卒業生による研鑽のためのコンサートがありました。主人とソロとデュエットをしましたが、大変好評で皆さんに興味を持ってもらえました。その楽器は自分で作ったのかと聞かれて驚いたのですが、クラシックの世界でピアノやバイオリン、フルート等の中にあって傍目からは素朴で何でもない楽器に見えたのかもしれませんが。手に取ってしげしげと眺め、木製だから柔らかい綺麗な音が出るんですねえとか色々質問されてコカリナ談義に花が咲き本当に楽しいひとときでした。皆さんからは関心を寄せて頂いたのでやる気が一層沸いて来ました。

課題は沢山ありますが、仲間の皆さんと一緒に少しでも良い演奏ができるように一層勉強に励みたいと思っています。

黒坂先生はじめ協会の関係者の皆様どうぞご指導ご鞭撻の程よろしく御願い申し上げます。



支援コンサートに取り組んでいただいた方から

支援コンサートに取り組んで… 福岡県 N.H

六月二十日メイトム宗像にて、とても心に響くコンサートありがとうございました。コカリナとステキな歌声に、心身共に癒され、被災地支援のチャリティーのはずが実は私共が、ご褒美を頂きました。重ねて御礼申し上げます

前略ごめんください
6月20日の宗像での「つむぐコンサート」から早いもので1週間が過ぎてしまいました。久しぶりに自宅に帰られてお疲れの方は大丈夫でしたか？その節は、本当に有難うございました。演奏会の時は雨も降らずほっとしました。御二人の演奏は、私の期待以上にすばらしく、今、私達が求めている「癒される音」だと思いました。素人の私がこのような事を書くのはおこがましいのですが、ジャンルを問わずいろいろな音楽が好きですけど、何か「救われる音」に出会ったという気持ちです。周美さんの声は本当に人を優しくする声だと思います。コカリナとのマッチは最高です。大ファンになりました。
今回のチャリティーコンサートに参加させていただきました事、深く感謝致しております。小さな事

でもいいから被災者の方々へ何かしたいと思っていらっしゃる人は多いと思うのですが、このような形でささやかなお手伝いが出来た事を嬉しく思っております。まだまだ今後も何が出来るかを思いつけて実行出来る事があればと思います。先は長いですがものね。TVで被災地の子どもの笑顔を見るとホッとします。やはり先ず未来ある子どもに希望が持てるようにしてやりたいですね。

今回「つむぐ つむいでいく」という事、黒坂ご夫妻と御縁が出来て今、CD(御二人の)を聞いています。幸福な気持ちです。

九州は宗像より黒坂ご夫婦の御健康と今後のご活躍をお祈りいたしております。又、被災された方々に笑顔が一日も早くもどられますようにお祈りいたします。
草々